〈解答〉

1 ウ

2

オ

2 周り

3 6 (段落)

配点 1 は各2点、 他は各3点 10点満点

- 2 欄②の前の『自分が自分であることさえ忘れてしまっている』という一文を、 るという結論が述べられているので、 う理由が述べられ、 空欄① 24 行 目 の前に 『音楽で自分から自分自身を遮断している』理由は、 『本を読むぼくたちにとって一番『うるさい』 直後に 『ふつう自分の体を気にしなくてもい 空欄①には順接の接続詞ウ「だから」が入る。 1 行 目 いような姿勢を整』え のは自分の体だ』とい 『落ち着いて本が 、後で『自 空
- 力を借りないと』という表現が出てくる。 態を作り出すことによって実現できる。 脱文中の「体の動きを借りて」という表現に注目する。 6段落の5行目に『まだ体の

読める』

ようになるためである。それは自分を含めた2行目

『周りが気にならない』状